

1 研究主題 「学習指導要領の趣旨を生かした国語力の育成」

2 研究の概要

妙高市教育研究会国語部会では、本年度の研修主題に沿って、思考力・判断力・表現力等の育成に着眼した授業づくりを目指し、会員一人一人が研修を深めてきた。夏の一斉研修会では、「楽しく力のつく国語の授業」の実践に向けた講演会を行った。秋の研修会では、上越国語教育連絡協議会と共催し、妙高市立新井北小学校で「子どもが主体的に思考し、表現する国語教室の創造」をテーマとする公開授業と協議会を行った。

3 研究の実際

(1) 夏の斉研修 平成28年8月19日(木) 新井総合コミュニティセンター2F大広間

- ・内容 楽しく力のつく国語の授業
- ・講師 上越市立末広小学校 校長 中野 英康 様



楽しく力のつく国語の授業の実践に向けて「選択」「対比」「発見」「視写」「音読」の5つの原則とその使い方について、具体的な実践事例をもとに講演していただいた。

さらに、6つ目の視点として、学力向上のための日常化に向け、「読書」の日常化、「書くこと」の日常化、「語彙力を鍛える」日常化について、国語の授業だけでなく、学級経営等でも教師が日常的に心がけなければならないことについて指導していただいた。

(2) 秋の斉研修 平成28年11月25日(金) 妙高市立新井北小学校

○上越国語教育連絡協議会 平成28年度秋季研修会と共催

- ・研究主題 「子どもが主体的に思考し、表現する国語教室の創造」
- ・単元名 「したいことをいきいきと」(「小学校こくご2年下」学校図書)
- ・授業者 重野 ひかる 教諭
- ・公開学級 2年2組
- ・指導者 妙高市教育委員会 指導主事 遠藤 和英 様

～部員の感想から～

20名の子どもたちが、自分の詩をもっとよくして、自分たちの詩集を作りたいという願いをもって、一生懸命に取り組んだ授業でした。子どもたちと教師の信頼関係が参観者の心に響く授業でもありました。ペアで短冊シートを読み合い、音や様子を表す言葉を使った詩を書くためのアドバイスがきちんとできていました。振り返りの視点が明確であったこともとても参考になりました。

4 成果と課題

夏の斉研修会では、言葉のおもしろさで子どもを引きつける駄洒落や学級俳句会、絵の分析と解釈など、すぐに実践してみたいくなる資料をたくさん用意していただき授業づくりへの意欲を高めることができた。

課題は、子どもの姿から学ぶ研修の充実である。今回は、上越国語教育連絡協議会と共催した研修会に参加することで研修を深めることができた。今後、国語部の研究主題に沿った授業公開等の研修の機会をどのように確保していくかが課題である。